

【1】 次のア～カの文を読み、問いに答えなさい。

ア. 徳川氏は幕府を開き、全国の大名を都合のよいところに配置しました。

外様大名の毛利氏の領地は現在の 県一帯でした。

イ. 源頼朝の弟である義経たちに率いられた源氏の軍は、平氏との戦いに次
つぎと勝ち、ついに壇ノ浦で平氏をほろぼしました。

ウ. 薩摩藩の西郷隆盛・大久保利通や、長州藩の木戸孝允らが中心となり、
両藩が力を合わせて、幕府をたおす計画を進めました。

エ. 聖武天皇は都に大仏をつくることを命じました。大仏づくりのために使われた
銅の多くは、現在の 県美祢市にあった長登銅山から送られました。

オ. 多くの文化人が戦乱をさけて、大内氏が治める に集まりました。
大内氏は、中国や朝鮮とも貿易をおこない、幕府をしのぐ経済力をもちました。

カ. 日清戦争に勝利した日本は、下関で清と条約を結び、清からリアオトン
半島などの土地や多額の賠償金^{ばいしょうきん}を得ました。

問 1. ア～カの文があらわしている時代を古い順にならべかえて、記号で答えな
さい。

問 2. ア、エ、オの文中の に共通してあてはまる地名を答えなさい。

問 3. 次の①～④の文は、ア～カの文のあらわす時代のどれと関係が深いか、記
号で答えなさい。関係の深い文がないときは、記号キで答えなさい。

- ① リトアニアの日本領事館にいた杉原千畝は、ユダヤ人たちが日本を通して
安全な国へ行けるよう、ビザ(通過証)を発行し続けました。
- ② 琉球王国は、薩摩藩にせめられ、政治をかんとくされるとともに、年貢を
取り立てられるようになりました。
- ③ 北里柴三郎は、伝染病研究所をつくり、野口英世などの医学者を育てたほ
か、ホンコンでペスト菌^{きん}を発見するなど、かつやくしました。
- ④ 遣唐使や留学生・僧^{そう}が、中国の進んだ文化や学問・技術を学んできました。
中国からも、鑑真のような僧や技術者が来日しました。

問 4. 次の①～④の資料は、ア～カの文のあらわす時代のどれと関係が深いか、
記号で答えなさい。関係の深い文がないときは、記号キで答えなさい。

- ① 着物のすそにとりすがって泣く子どもたちを、わたしは、家においてきて
しまった。あの子どもたちには母親^{はは}がいないが、今ごろどうしているのだろ
うか。
- ② ああおとうとよ 君を泣く 君死にたまうことなかれ
- ③ 一 新しい城を築いてはいけない。修理するときは届け出ること。
一 大きな船をつくってはならない。
- ④ 第一条 和を大切にし、人と争わないようにしなさい。
第八条 役人は朝早く役所に行き、おそくまで仕事をしなさい。

問 5. アの文について。毛利氏の領地の中心となった城下町を、次のあ～えから
選び、記号で答えなさい。

あ. 萩 い. 福岡 う. 鹿児島 え. 金沢

問 6. イの文について。源頼朝によって国ごとにおかれ、軍事・警察の仕事にあ
たった御家人のことを何というか、答えなさい。

問 7. ウの文について。木戸孝允が若いときに学んだ、吉田松陰の私塾^{しじゅく}を何とい
うか、答えなさい。

問 8. エの文について。この大仏のある寺の名前を答えなさい。

問 9. オの文について。大内氏の保護のもとで中国にわたり、水墨画^{すいぼくが}を学んだの
はだれか、答えなさい。

問10. カの文について。この条約を結んだにもかかわらず、日本はリアオトン半
島の領有をあきらめました。それはなぜか、説明しなさい。

【2】の問題は次のページからです。

【2】 次の三つの文章は平田オリザさんの著書『下り坂をそろそろと下る』からの抜粋です。これらの文章を読み、問いに答えなさい。

現在、日本の労働人口の7割近くが第三次産業に従事しています。しかし、⁽¹⁾いまだ、この国では教育のシステムも雇用や福祉政策のシステムも、大量生産大量消費の工業立国の時代のままです。経済の構造改革が⁽²⁾な⁽²⁾し崩⁽²⁾し的に進められたにもかかわらず、社会のシステムの改革が進んでいない。

この四国山脈によって、瀬戸内海地方は台風などの災害から守られ、温暖⁽³⁾な土地柄を醸成⁽³⁾*してきた。それ故か、四国の多様性の中でも、伊予、讃岐、いまの自治体名で言えば **ア**、**イ** は、ある種共通の湿潤で温厚な風土を持っているように感じる。

四国経済に爆発的な変化をもたらすはずだった⁽⁴⁾三つの本四連絡橋は、当初は多くの観光客を集め、物流を一変させた。しかしやがて典型的なストロ⁽⁵⁾ー効果を起こし、**イ** 県は1995年以降20年近く、⁽⁶⁾人口減少が続くこととなった。⁽⁷⁾

*醸成…⁽⁸⁾雰囲気・状況などを次第に作り出すこと。
(出題の都合上、漢数字を算用数字に改めたほか、一部内容を改めています。)

問 1. 下線部(1)について。第三次産業とは第一次産業、第二次産業に分類されない産業を指し、その割合は都道府県ごとに差があります。表1に示した産業別人口構成は、東京都、愛知県、高知県のいずれかのものです。高知県のものを選び、あ～うの記号で答えなさい。

表1 産業別人口構成(2012年)

	総数 (千人)	第一次産業 (農業・林業・漁業など) (%)	第二次産業 (製造業・建設業など) (%)	第三次産業 (%)
あ	3,908	2.3	35.0	62.7
い	369	12.0	18.6	69.5
う	7,328	0.4	18.1	81.5

(『データブック・オブ・ザ・ワールド』より作成)

問 2. 問 1 の高知県の場所を、下の図 1 から選び、あ～きの記号で答えなさい。

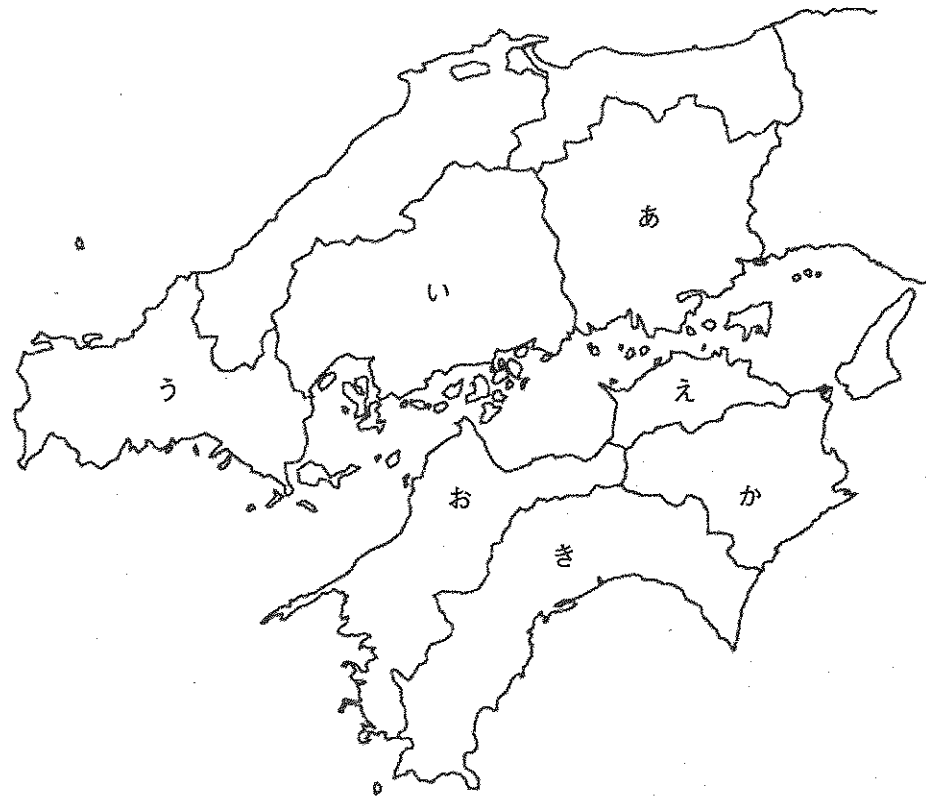
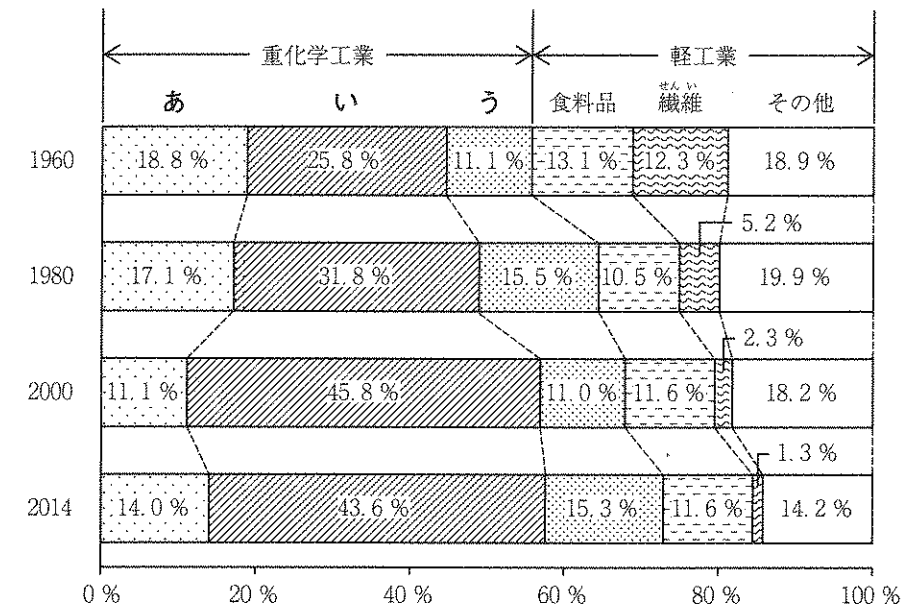


図 1

問 3. 下線部(2)について。日本では戦後、重化学工業化が進みました。図 2 のグラフは日本の製造品出荷額等の産業別構成の変化を示したものです。重化学工業のあ～うのうち、いがあらわしているのはどのような分野ですか。漢字二文字で答えなさい。



(『日本国勢図会』より作成)

図 2 製造品出荷額等の産業別構成の変化

問 4. 下線部(3)について。山地や山脈の存在によって、気候が異なることがあります。例えば、同じ四国地方でも瀬戸内と南四国、同じ中国地方でも瀬戸内と山陰では気候が異なります。図3に示した雨温図は、岡山市・高知市・高松市・鳥取市のものです。高知市と鳥取市のものを選び、あ～えの記号で答えなさい。ただし、同じ記号を2回答えてはいけません。

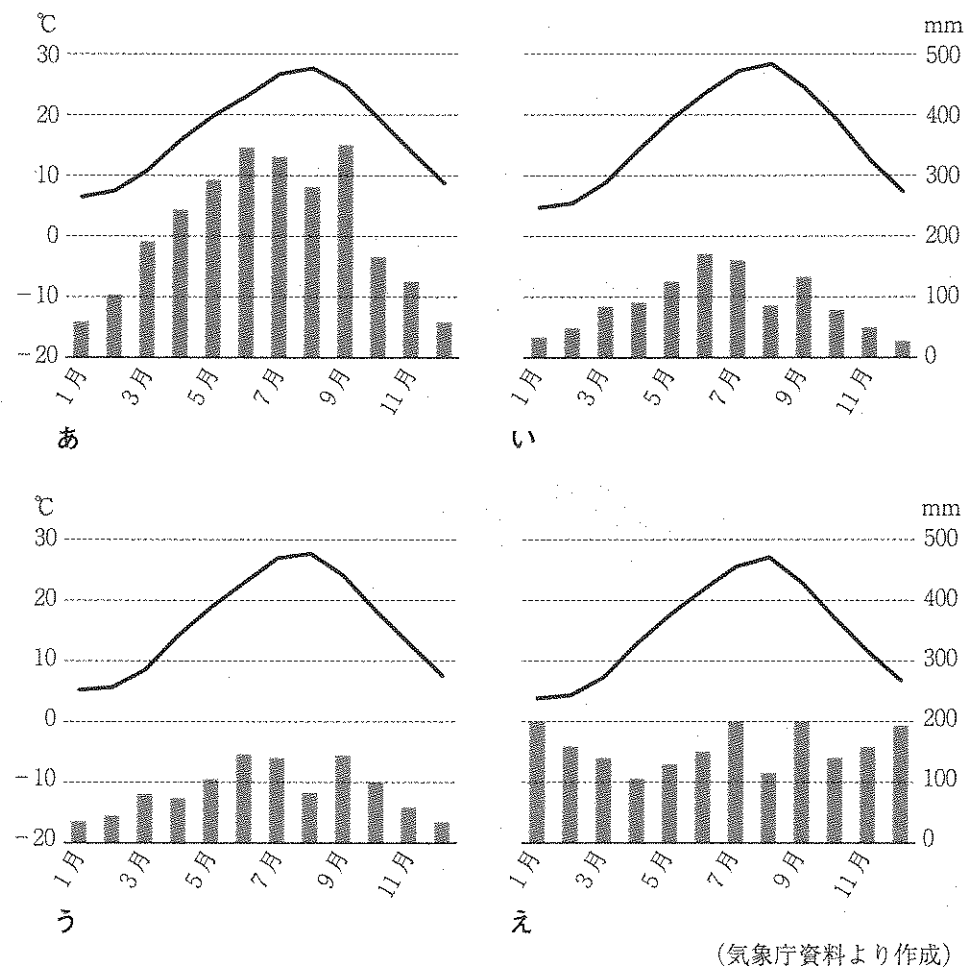


図3

問 5. 文中の **ア** には「伊予」、**イ** には「讃岐」の現在の県名が入ります。それぞれ漢字二文字で答えなさい。

問 6. 下線部(4)について。本州と四国は三つの連絡橋で結ばれています。次に示したあ～うの文はそれぞれの連絡橋についてのものです。あ～うの文のうち、内容の正しいものには○を、あやまっているものには×を記入しなさい。

- あ. 神戸市から明石海峡大橋で小豆島に渡り、大鳴門橋で鳴門市に渡るこのルートは、三つのルートのなかで橋の数が最も少ない。
- い. 三つのルートのなかで最も早く開通した瀬戸大橋を渡るルートには、鉄道も通り、倉敷市児島と坂出市を結んでいる。
- う. 尾道市から今治市までを結ぶこのルートは、瀬戸内しまなみ海道とも呼ばれ、三つのルートのなかで全面開通は最も遅い。

問 7. 下線部(5)について。本州四国連絡橋の開通により、日本国内だけでなく、海外からの観光客も増えました。現在、一年間の海外からの訪日客数は、多い順に台湾、韓国、中国となっています(2014 年)。下の図 4 から台湾と韓国の位置をそれぞれ選び、あ～おの記号で答えなさい。

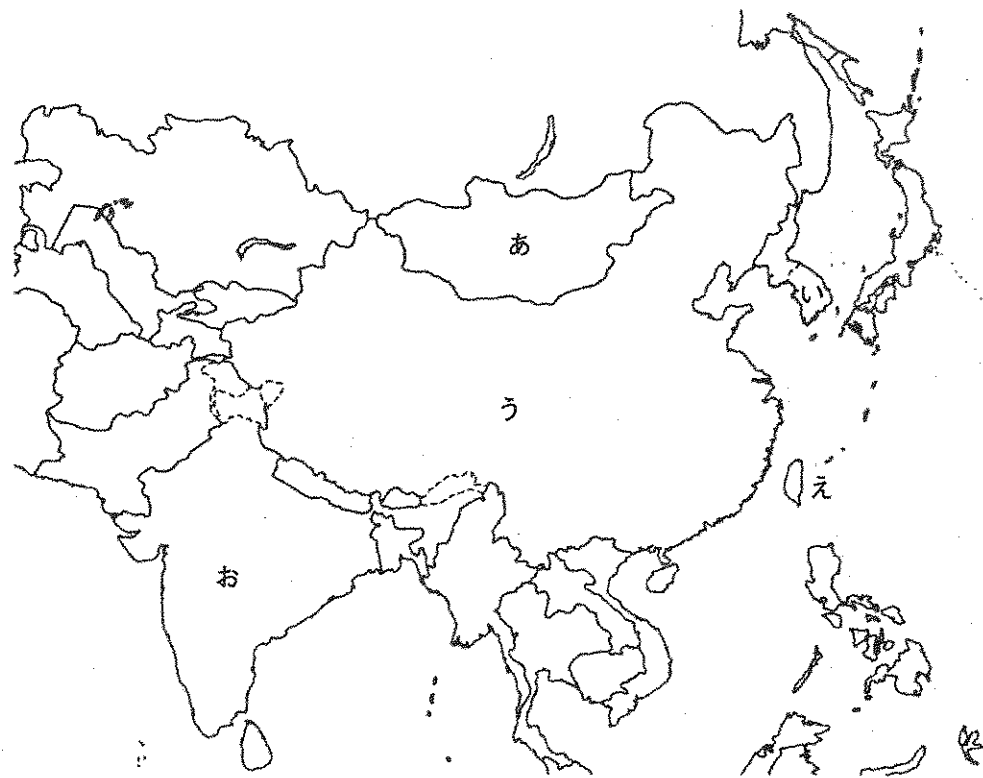


図 4

問 8. 下線部(6)について。ストロー効果とはどのようなものだと考えられますか。次の文からふさわしいものを選び、あ～おの記号で答えなさい。

- あ. 都市の郊外で無計画な宅地の開発が進んでいくこと。
- い. 都市の周辺や農村に新たな工場が立ち並んでいくこと。
- う. 交通網が整備された結果、地方の人口や資本が大都市に流出すること。
- え. 新幹線が整備され、大都市から農村地帯に観光客が訪れるようになること。
- お. 高速道路が整備され、地方の農産物が大都市の市場まで運ばれるようになること。

問 9. 下線部(7)について。1995 年に起こった地震として正しいものを選び、あ～おの記号で答えなさい。

- あ. 鳥取県西部地震 い. 南海地震 う. 新潟県中越地震
- え. 濃尾地震 お. 兵庫県南部地震

問 10. 下線部(8)について。現在では四国地方だけでなく、日本全体の人口も減少しています。2015 年の日本の人口はおよそ 1 億 2700 万人ですが、日本よりも人口が多い国を次から二つ選び、あ～おの記号で答えなさい。

- あ. イギリス い. インドネシア う. エチオピア
- え. ナイジェリア お. フランス

【3】 次の文章を読み、問いに答えなさい。

2016 年のノーベル賞で、大隅良典さんが生理学・医学賞を受賞しました。医学や化学、物理学など自然科学の分野での新しい発見は、人間の生活をより豊かで便利にする多くの技術を生み出してきました。

核エネルギーの利用は 20 世紀になってから実用化された技術です。日本政府はこれを発電に用いようと、通商産業省を中心に推進してきました。2001 年に省庁が再編された時には、原子力発電の安全な利用を図るために、1 省のもとに原子力安全・保安院が設置されました。この組織は、原子力発電が安全におこなわれているかをチェックする役割を担ってきましたが、2012 年 9 月に廃止され、これに代わり、2 省のもとに原子力規制委員会が設置されました。

科学技術は私たちに経済的な豊かさをもたらしましたが、その一方で地球温暖化の問題など、新しい課題も出てきています。21 世紀に生きる私たちがより良い社会を実現するために、これらの技術をどのように利用すべきなのか、いま厳しく問われています。

問 1. 文中の 1 ・ 2 に入る適切な語句を答えなさい。

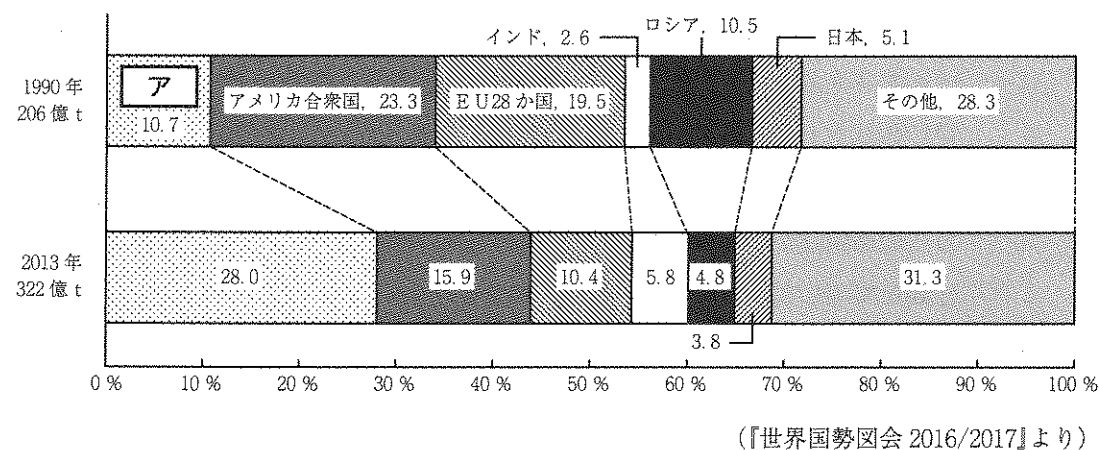
問 2. 下線部(1)について。ノーベル賞には物理学賞や化学賞など自然科学の分野とあわせて、平和賞や文学賞もあります。以下のあ～えの文は、日本人でノーベル賞を受賞した人たちについて述べたものです。これらのできごとを古い順にならべかえ、記号で答えなさい。

- あ. 山中伸弥が、さまざまな細胞に成長できる i p s 細胞を作り出した功績により、ノーベル生理学・医学賞を受賞した。
- い. 大江健三郎が、高度経済成長期に川端康成が受賞してから 26 年ぶりに、日本人としてノーベル文学賞を受賞した。
- う. 佐藤栄作が、首相在任中に「非核三原則」を提唱した功績により、沖縄返還を実現した 2 年後にノーベル平和賞を受賞した。
- え. 湯川秀樹が、中間子という粒子が存在すると予言した功績により、ノーベル物理学賞を受賞した。

問 3. 下線部(2)について。人間はその技術力を兵器の開発にも利用してきました。以下の兵器や技術に関連したあ～えの文について、内容が正しくないものを一つ選び、記号で答えなさい。

- あ. 第一次世界大戦では、鉄の装甲をほどこした戦車が投入された。
- い. 第一次世界大戦では毒ガスが兵器として使用されたが、現在では、毒ガスや細菌などを用いた生物・化学兵器の開発や使用を禁じる条約がある。
- う. 第二次世界大戦では、原子爆弾だけではなく水素爆弾も使用された。
- え. 第二次世界大戦中のドイツのミサイル技術は、戦後、宇宙ロケット開発に活用された。

問 4. 下線部(3)について。地球温暖化の原因の一つは二酸化炭素の排出によるものであると考えられています。以下の図5のグラフは二酸化炭素の排出量について国や地域ごとの割合を示したものです。このうち **ア** で示されている国はどこですか、答えなさい。



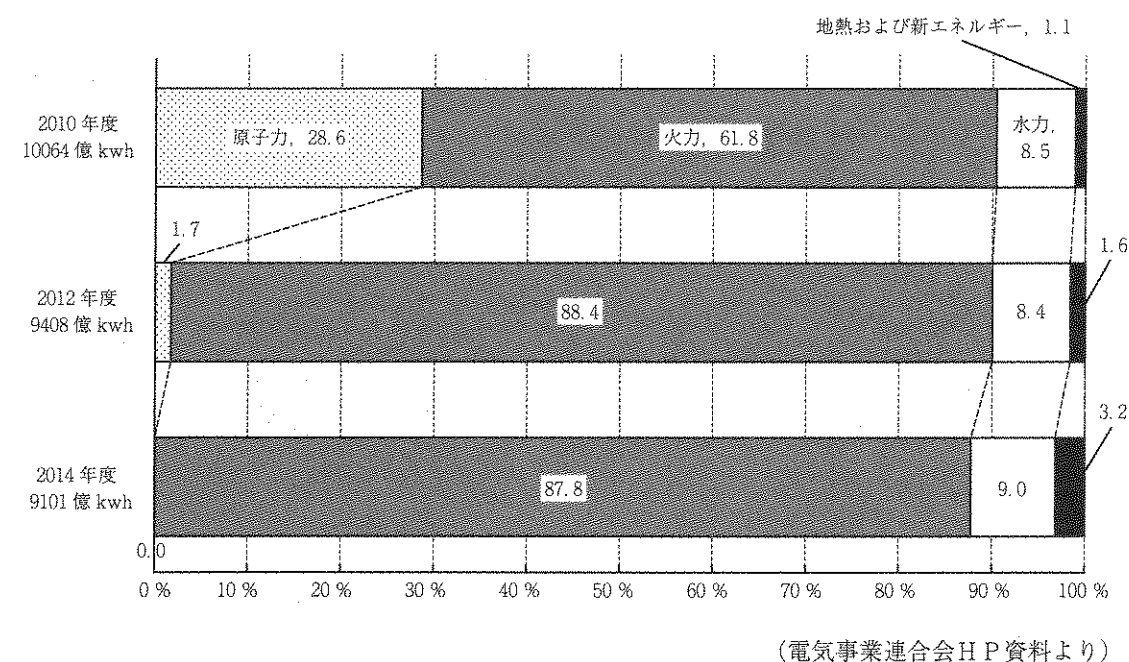
(注1) グラフ内の数値は構成比(%)。

(注2) グラフ内の「EU28 各国」とは、1993年に発足したEUの加盟国について合算したもの。

また「ロシア」とは、1991年に成立したロシア連邦を構成する地域について合算したもの。

図5 世界の二酸化炭素排出量の割合

問 5. 以下の図6のグラフは、日本における電力構成の内訳について、2010年度・2012年度・2014年度のものをそれぞれ示しています。電力構成の内訳がこのような変化した背景にはどのようなできごとがありますか。14ページの文章を参考にして、グラフから読み取れることにふれながら説明しなさい。



(注) グラフ内の数値は構成比(%)。四捨五入の関係により構成比の合計が100%にならない場合がある。

図6 日本の電力構成の内訳

これで問題は終わりです。

2018年度 社 会 解 答 用 紙

受験 番号		氏 名	
----------	--	--------	--

【1】

問 1 → → → → → 問 2 問 3 ① ② ③ ④ 問 4 ① ② ③ ④ 問 5 問 6 問 7 問 8 問 9

問 10	

【1】の得点

【2】の得点

【3】の得点

合計得点

【2】

問 1 問 2 問 3 問 4 高知市 鳥取市 問 5 ア イ 問 6 あ い う 問 7 台湾 韓国 問 8 問 9 問 10

【3】

問 1 1 2 問 2 → → → 問 3 問 4

問 5	